

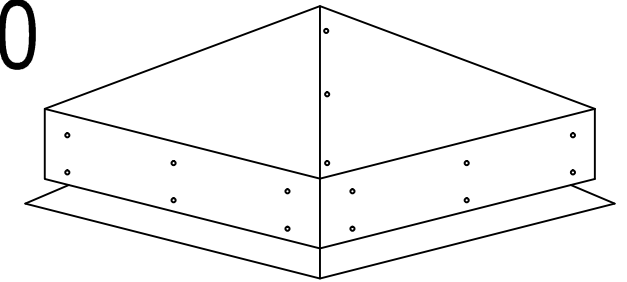
■ 製品仕様

品名	方形換気塔	加熱膨張材付き方形換気塔
品番	HV-300	HVBD-300
材質	塗装ガルバリウム鋼板 0.35t	
寸法(L)	542mm×542mm	
梱包	1本/梱	
付属品	取付けビス 12本	
	捨水切 4本	
有効換気面積	300cm ² /本	
基準小屋裏面積	48m ² /本	

取付要領書

方形換気塔

HV-300・HVBD-300



施工前にこの取付要領書をよくお読みの上、正しく施工してください。

適用範囲	<ul style="list-style-type: none"> 屋根勾配が2.5寸～6.0寸勾配の範囲でご使用ください。 住宅屋根用化粧スレート又は、シングル屋根材で使用できます。
------	---

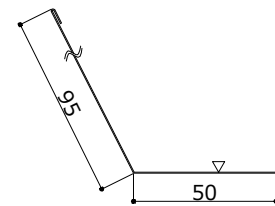
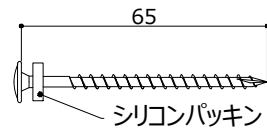
! 施工上のご注意

- 製品を扱う場合は保護具を着用し作業を行ってください。鋭利な部分で怪我をする恐れがあります。
- 本書記載のシーリング指示箇所は、しっかりと充填し防水処理を行ってください。
- 施工完了後アンテナ等を設置する場合、釘やビス等を換気棟に打ち付けしないでください。
- 換気棟以外の施工については屋根材の施工説明書を参考に工事してください。
- ビス等で一度固定したものを取り外し再度固定し直す時は、ルーフィングに開いた穴を防水テープで塞いでください。
- 換気塔は分解しないでください。組み直しや改造を行うとズレが生じ、雨漏り等の原因となります。

取付けビス SUS410 3.8×65mm

捨水切 塗装ガルバリウム鋼板 0.35t

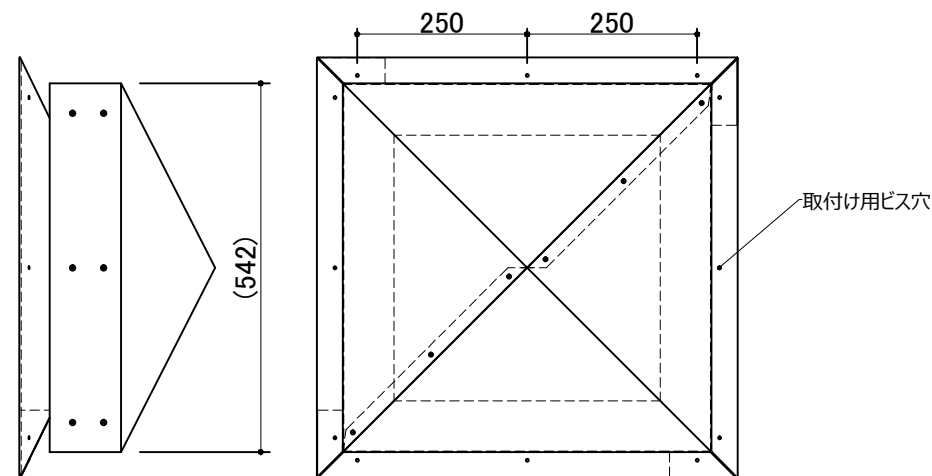
付属品



■ 取付基準

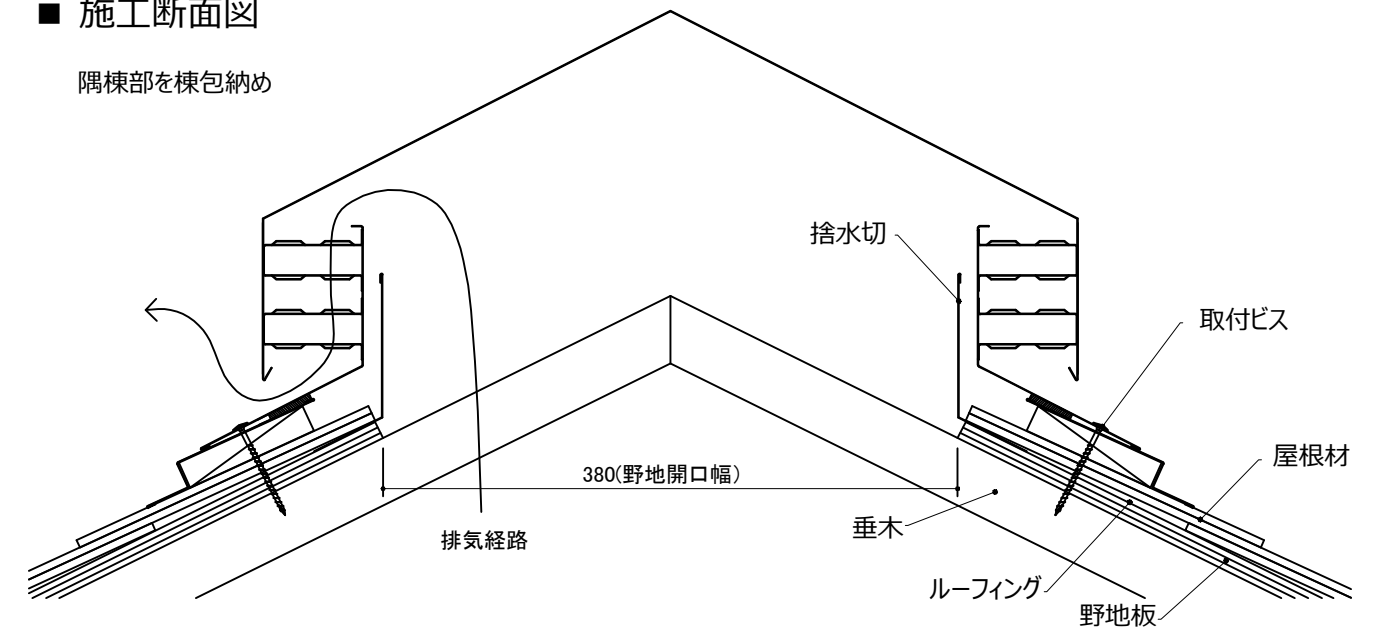
屋根の頂上部に使用する排気口の有効換気面積は、住宅金融支援機構「住宅工事共通仕様書」に記載する基準値に準じてください。

■ 方形換気塔 概要



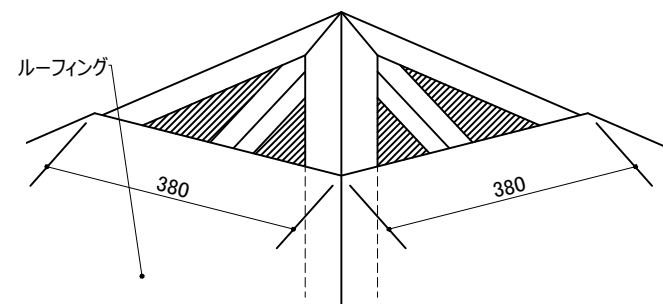
■ 施工断面図

隅棟部を棟包納め



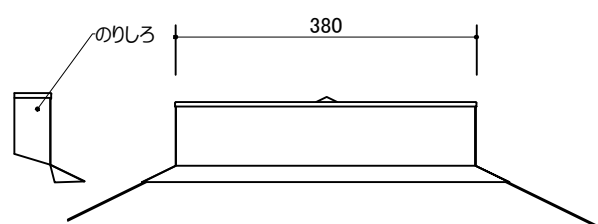
1. 屋根下地の加工

- ① 野地板に開口部を開ける。
- ② ルーフィングを貼り開口部に合わせてカットする。

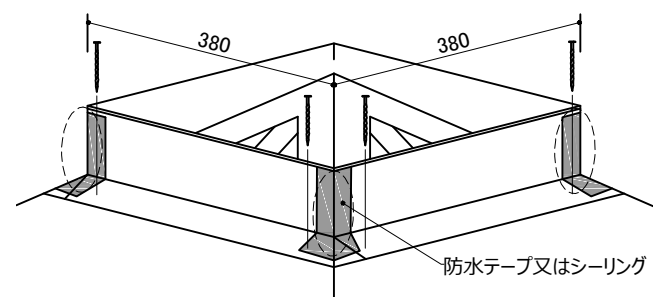


2. 捨水切の加工・取付け

- ① 付属の捨水切を1辺が380mmの長さになるように両端部を加工して四方を囲む。
※1辺が400mmを超えると換気塔を取り付ける事ができません。



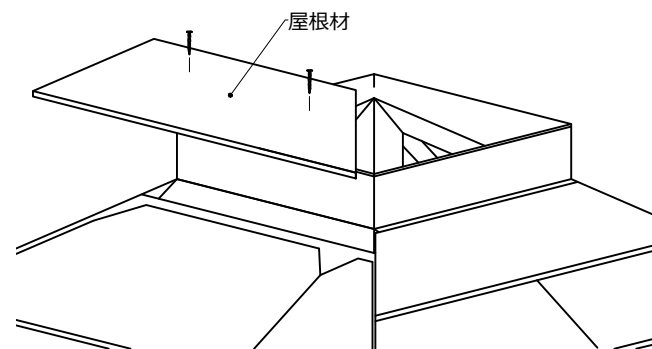
- ② 捨水切の重ね部分には防水テープかシーリングにて防水処理を施してください。



※ピンホールのような小さな穴が開かないように注意してください。

3. 屋根材の施工

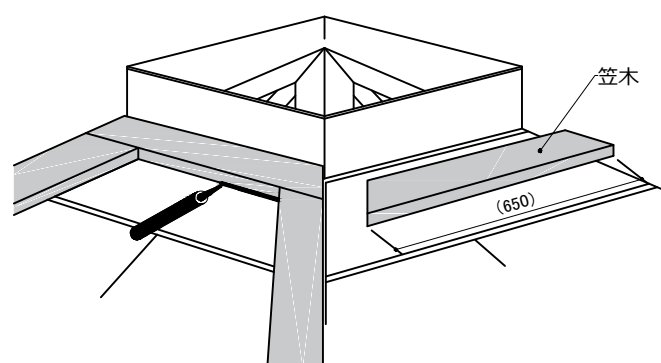
- ① 屋根材の施工手順に沿って頂部まで葺き上げる。



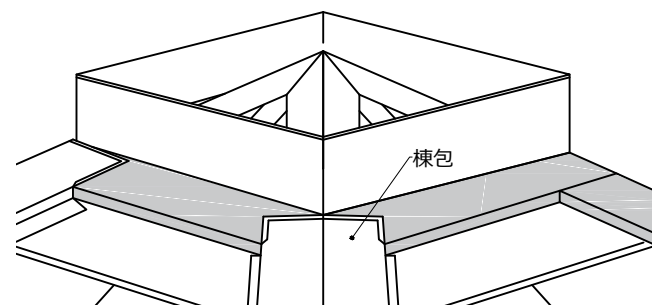
4. 笠木と板金の取付け

※ここからは隅棟部を棟包で納める場合の説明になります。隅棟部を差し棟（棟コーナー）で納める場合はB-4から参考にしてください。

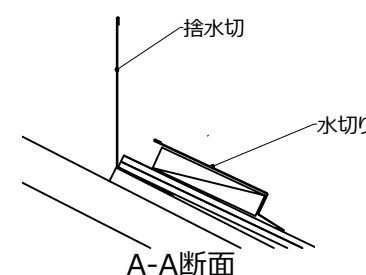
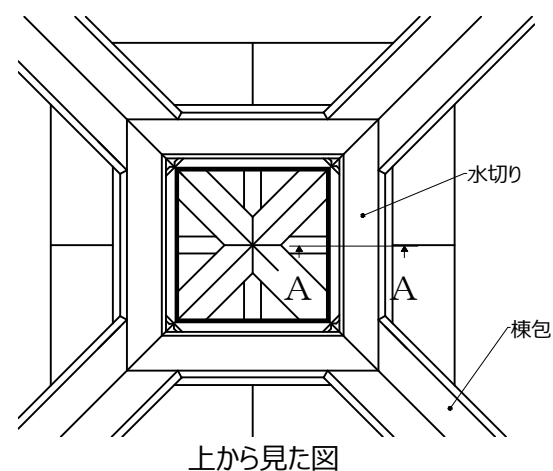
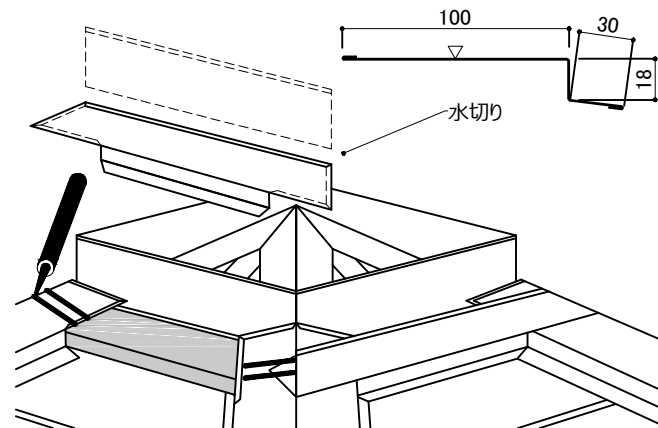
- ① 笠木（18×90）を固定し周囲にシーリングを施す。



- ② 隅棟部に棟包を取り付ける。

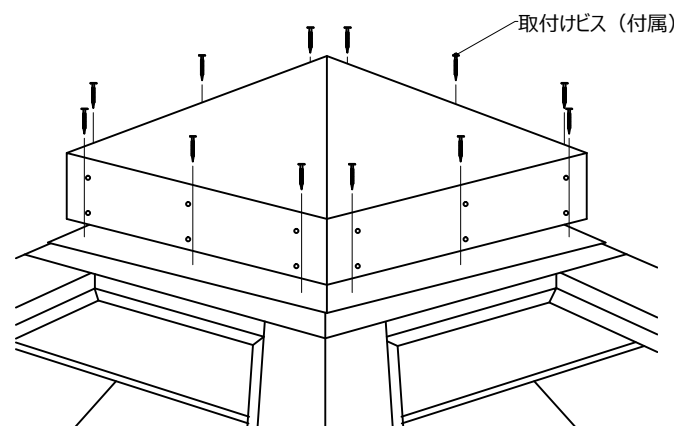


- ③ 雨押水切など（現場調達）を加工し笠木に取り付ける
- ④ 板金に重なる部分には捨てシーリングを施す。



5. 換気塔の固定

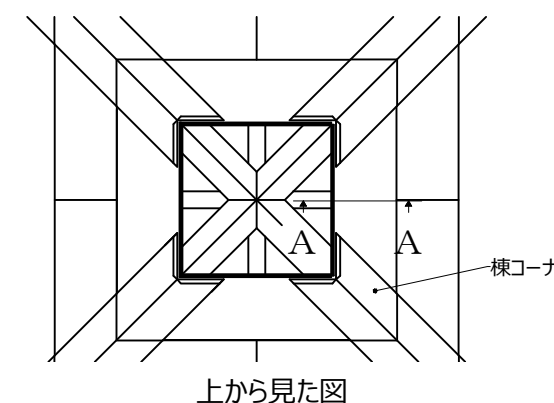
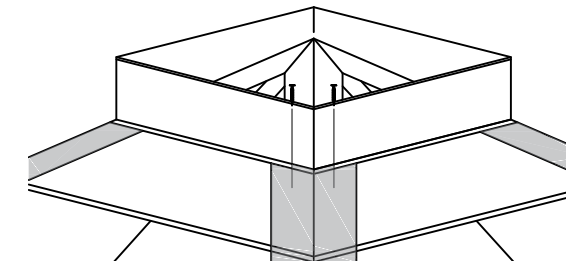
- ① 換気塔を取付けビスで固定する。



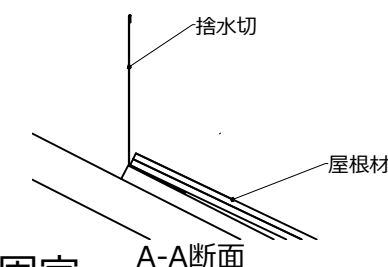
隅棟部を棟コーナー（差し棟）納め

B-4. 棟コーナーの取付

- ① 棟コーナーを最上段まで施工する。

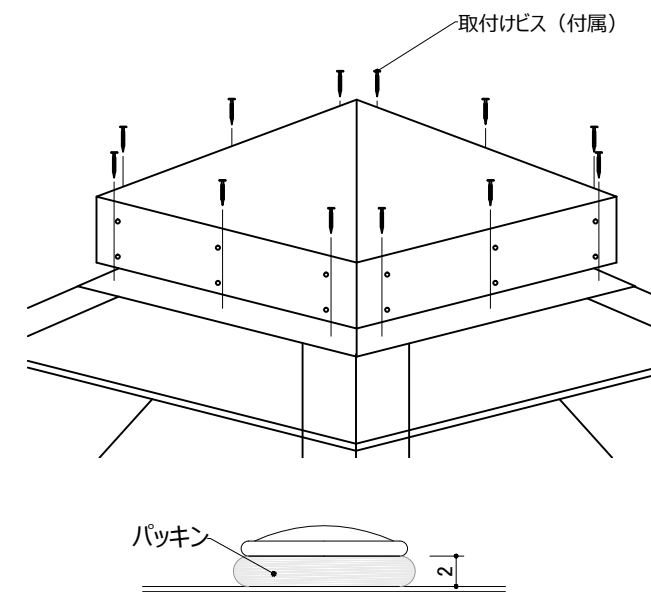


上から見た図



B-5. 換気塔の固定

- ① 換気塔を取付けビスで固定する。



⚠ 取付けビスの締めすぎに注意してください。目安はパッキンの厚み2mm程度です。